


『嬉し泣き』 寸評

- ・和声付けに苦労されてますね
- ・フリッツ・クライスラーの小品っぽいおもむきもある
- ・Vn.に適した旋律線 3部形式の推移も自然
- ・*ff* は奏者に負担なので節約してつかう方がよい
- ・代わりに*cantabile*などの発想標語で意図を示す

完成度をさらに上げるために

- ・仮に全篇 *pp* でも奏者はきこえるように演奏します
- ・m.2のメロディは課題のかたちになおす
- ・m.3 D \sharp →D \natural 半音上げて導音の機能を与える必然性はここの和声上ない
- ・m.5. b.3平行調のト長調に解決するよう属和音D 7 をはさむ
- ・m.6 b.3-m.7 b.1ベースとメロディ完全5度平行 
- ・m.7のベースをAmの第一転回形のCにして避ける
- ・m.12のD \sharp もm.3とおなじくD \natural のままでよい
- ・ベースが基本位置だけでなく転回位置のものをドンドンつかおう
- ・形式A-B-Aに応じてベースも、転回位置多め-基本位置-転回位置多めと形式感に寄与する
- ・コードネームを自分でつけて納得できる進行が実現できているかたしかめよう

m.=measure 小節番号のことです。
b.=beat 拍のことです。

よくがんばりました。

持麿 勉